
メガネの魔法 4 ～そんな彼女に敵わない～

シマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

メガネの魔法 4 ～そんな彼女に敵わない～

【Nコード】

N6247P

【作者名】

シマ

【あらすじ】

俺、山崎匠は、飼犬”イチ”を口実に、部下で想い人の遠藤裕美を誘って公園へ出掛けたけれど……「メガネの魔法」その4 匠視点です

「イチ……主を差し置いて何をしてる」

「何を言っているんですか？」

せつかくの休日。俺、山崎匠は、飼い犬が会いたがっている事を口実に彼女、遠藤裕美を誘って公園に来ていた。しかし、彼女は犬と遊んでばかりで俺を見ない。更に今、彼女の膝の上には飼い犬”イチ”が気持ち良さそうに寝ている。

「君の膝枕とは……良いご身分だなイチ」

「犬に凄んでどうするんですか!？」

彼女に叱られ、ますます面白くない。彼女に取って俺はオマケか？そんな疑問さえ浮かんだ。気がつけば眉間にシワが寄っている。口を開けば、彼女に八つ当たりしそうで黙りを決め込んだ。

「あの……」

「……」

返事もせずに視線だけ彼女に向けると、目に涙を溜めた彼女が見ていた。

「え………どうした？」

「……いえ、迷惑かけてすみません。せつかくの休日を潰してしま
って……」

「君は、何を言っているんだ？」

「だって……先ほどから楽しくない様なので早く帰りたいのかなと
……」

自分の態度を誤解した彼女に泣かれては、本当の事を言うしかな
い。しかし……この歳で犬に嫉妬とは、情けないと言うか、余裕が
ないと言うか……チラツと横目で彼女を見たら、涙が一粒溢れた。

「誤解だ……泣くな」

彼女の涙を指先で拭い見詰めれば、真っ直ぐなめで見詰め返され
胸が締め付けられた。

「ああ、クソツ！！犬に嫉妬なんて恥ずかしくて言いたく無かった
んだ！！」

「ふえ？イチに？」

半ば投げやりに言えば、よほど驚いたのか何度も瞬きを繰り返して
いる彼女がいた。傍にいる事を確認したくて、肩を抱き寄せ首元
に顔を押し付けた。

「え！？あつあの……課長！？」

「……今は、その呼び方禁止……名前で読んでくれよ」

「な……名前ですか……無理」

即答で断る彼女に視線だけ向けると、真っ赤な顔で慌てていた。名前ぐらいで何だ？と思っていたら、その答えに驚いた。

「私……男の人を名前で呼んだ事無いんです。だ……だから」

「無い？今まで一度も？」

「……はい……男友達もいなかったし、誰かと付き合った事ないし」

そう言えば会議室で彼女は言っただけでなかったか？あのキスが初めてだと……それならば……

「デートは？」

ちょっと意地悪な質問かとは思ったが、抱き寄せたままの彼女を見ると答えは明らか。真っ赤な顔で狼狽えていて……その顔は最早凶器で、俺は理性と忍耐力を総動員させるはめになった。そんな男の機敏も分からない彼女に、更に意地悪な事を言ってみた。

「だったら尚更、初めての人になりたいけど？」

「うう……た……」

「た？」

「……匠さん」

頑張っ て真っ赤な顔を反らしながら彼女が呼んだ俺の名前。自分

の名前を呼ばれて、こんなに嬉しかった事は初めてで、自然と顔が緩んでしまうのは仕方無いこと。

「裕美」

俺も彼女の名前を口にすれば、花が綻ぶ様な笑顔を見せる。そんな彼女に怒られる事を覚悟でキスをした。真っ直ぐに彼女の目を見詰めれば、照れを隠すように俯く姿に笑いが漏れた。

「これから一緒に散歩して、初めてのデートをして欲しいんだけど、良いのかな？」

「あう……は……はい、宜しく願いします」

真っ赤な彼女と手を繋ぎ歩く公園は、何時も以上に新鮮でただの散歩が幸せの時間になった。

彼女と一緒にだから幸せなのだと気付かざる

結局、彼女に敵わない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6247p/>

メガネの魔法 4 ~ そんな彼女に敵わない ~

2010年12月25日15時25分発行